

## 香港『食』のビジネスチャンス①

### ～油麻地のフルーツマーケット～



油麻地の果物店の様子



店頭に並ぶ日本産のいちご



日本産の桃やシャインマスカット

#### ◇ 油麻地（ヤウマティ）のフルーツマーケットとは

- ・ 香港地下鉄油麻地駅から歩いてすぐの場所にある油麻地果欄（フルーツマーケット）は100年以上の歴史があり、約200店舗の果物店が軒を連ねています。
- ・ 世界中の新鮮な果物が一同に集められており、日中は個人向けの小売店に、夕方から早朝にかけてはスーパーや飲食店向けの業務用卸売市場になります。

#### ◇ ここは日本？

- ・ 陳列されている果物の中でも新鮮な日本産品はひととき目立っています。夏季には、メロン・ぶどう・桃・すいか等が、冬季には、いちご・りんご・みかん・柿等が所狭しと溢れかえり、まるで日本の青果市場に居るかのようです。
- ・ いちごのシーズンには福岡県産の『あまおう』を筆頭に、佐賀県産『さがほのか』、熊本県産『ゆうべに』、和歌山県産『まりひめ』、栃木県産『とちおとめ』等、日本のあらゆる産地のいちごに出会うことができます。
- ・ フルーツマーケットの小売店は、日本のJAグループと直接取引しているサプライヤーから果物を仕入れており、香港のスーパーで買うよりも3～5割ほど安く購入できます。  
〈参考〉いちご1パック … 日系スーパー100HKD（約1400円） ⇔ 市場50HKD（約700円）  
※ 1HKD=14円で換算
- ・ 日本産の青果物は品質が高いことから香港での需要は旺盛で、ピークの日は一店舗で日本産のいちごを5千箱以上販売することもあるようです。
- ・ 近年では果物だけではなく、日本産のシメジやキュウリ、ほうれん草などの野菜類も陳列されています。まだまだ高価なイメージが強い日本産の食料品ですが、将来は青果物だけではなく、日本産の様々な食料品も直接取引により安価に提供できるようになっていくかもしれません。

2021年6月17日作成

西日本シティ銀行香港駐在員事務所